

「才上海城の娘」 和田竜

織田信長
羽柴秀吉
眞鍋七五三兵衛しめのひょうえ

毛利元就 — 毛利隆元 — 毛利輝元
児玉就英なりひで
吉川元春
小早川隆景
乃美宗勝

【能島村上】
村上武吉 — 元吉
景きょう
景親

【来島村上】
村上通総みちふさ
村上吉継

【因島村上】
村上吉充

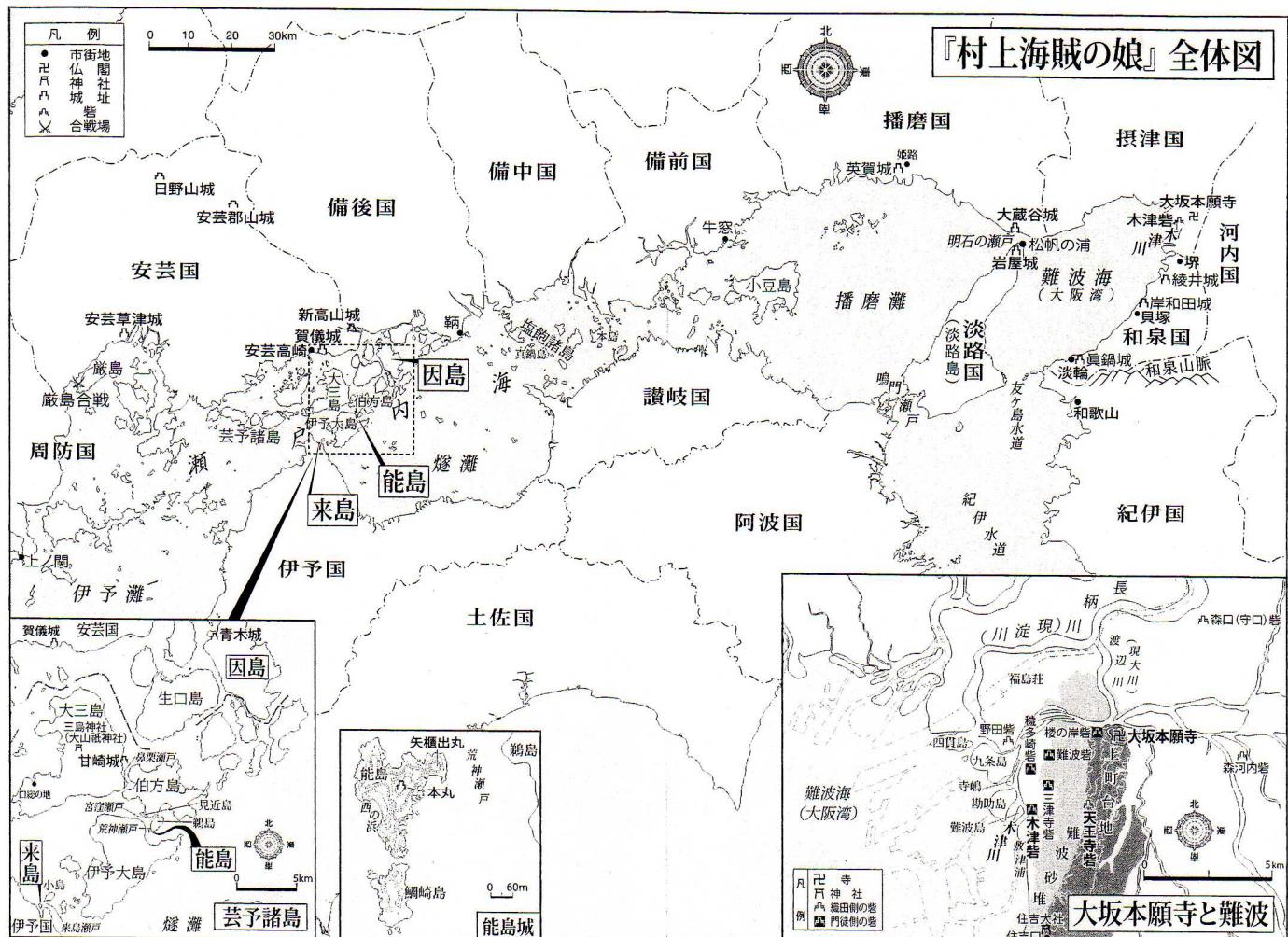
【雑賀党】
鈴木孫市
安国寺恵瓊は出てこない

1555 厳島の戦い
1576 第一次木津川口の戦い

一向宗本願寺派(浄土真宗)
大坂本願寺(大阪城)
帆別銭ほべせん

村上水軍としては、人も物も往来自由では困る
通行料の取れる海の関所がいる
織田の世では食っていけない

今どきの劇画活劇団
歴史小説「秀吉と武吉」城山三郎



登場人物

織田信長が室町幕府最後の将軍、足利義昭を奉じて京に旗を立て、西に勢力を伸ばそうとしていた頃のこと。時は天正四年（一五七六年）、比叡山焼き討ちから五年、武田軍を粉碎した長篠合戦の翌年に当たる。信長と大坂本願寺の戦いは七年目を迎えていた。

【村上家】

村上吉継
村上武吉

村上景親

悍婦にして醜女。嫁の貰い手がない当年二〇歳。

景の父で、能島村上家の当主。瀬戸内の半を勢力下におさめ、

来島村上家の重臣筆頭。直情型の毛むくじやら。

因島村上家の当主。世渡り上手の優男。

景の兄。勤勉謹直で家臣に厳しく当たる。

【毛利家】

毛利元就
毛利輝元

毛利勝

亡き毛利元就の三男。甥にあたる現当主毛利輝元を補佐。秀吉や

家康ら天下人も認める頭脳の持ち主。

小早川隆景の重臣。警固衆（水軍）の古強者で、主人に遠慮のな

い禿げ頭。

毛利家直属の警固衆の長。色白の若き美丈夫。気位が高い。

【織田方】

真鍋道夢斎
真鍋道夢斎

沼間義清

源田又右衛門

大坂本願寺を攻める真鍋海賊の若き当主。剛強無双の巨漢、怪物。

七五三兵衛の父。泉州における真鍋家躍進の立役者。坊主頭の大

入道。

泉州を束ねる触頭、沼間任世の息子。真鍋家の台頭に危機感を抱

く。

沼間家と同じく泉州の触頭。「悪たれ兄弟」の弟。南瓜顔。

一向宗本願寺派第十一世門主。信長と対立。

頗る如の側近。門主の権威を笠に着る。

安芸高崎の百姓。一向宗門徒。

源爺の孫で、一向宗門徒。口の達者な少年。

【大坂本願寺】

木孫市

鉄砲傭兵集団、雜賀党の首領。